校長室だより

染井吉野

平成２７年１２月１４日発行
No.11
気仙沼市立馬籠小学校
校長　多田　陽

充実した冬休みに

過日の授業参観の際には，ご多用の折にもかかわらず，多数の保護者に来校いただきありがとうございました。

長い二学期も残すところ一週間となりました。校内水泳大会に始まり，音楽祭，学芸会，まごめっこまつり，持久走大会，フットサル大会と多くの行事があり，その時々で子ども達の活躍や成長を目の当たりにすることができました。そして，保護者や地域の皆様には，その度に快くご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。

さて，いよいよ２４日から冬休みが始まります。以下のことにご留意頂き，充実した冬休みにしてほしいと思います。

○はやね・はやおき・あさごはんを守らせてください

最近，登校が遅くなっているお子さんが･･･気になっています。

○家族の一員としてお手伝いをさせてください

意欲や自信，忍耐力を育てます。

○計画的に宿題に取り組ませてください

溜めてしまうと，本人もたいへんです。

○ランドセルの中や筆入れの中の確認をお願いします。

ノートはまだ使えますか。筆入れの中の鉛筆短くなっていませんか。消しゴムは･･･。

「褒める」ということ

先日，「もの知り名人」として二年生の男子児童が書いた紹介文を本人から手渡されました。めったにほめられることはないので，非常に嬉しく感じました。

学芸会の翌週に担任の先生が「いっぱいほめてもらった？」と聞いたところ，子ども達は本当に嬉しそうに「はい」と答えたということでした。やはり，ほめられることは大人も子どもも嬉しいものなのですね。

さて，日本は謙譲の文化なのか謙遜が美徳とされているからか，身内をほめるということが少ないと言われていますし，私も含め「ほめる」ということを苦手としている人は多いのではないでしょうか。以下のことを参考にして，冬休み中に，たくさん子どもたちをほめてほしいと思います。

【ほめる】ポイント

●できて普通と感じることでも，できたらほめる。
　「今日は一人で起きられたね」，「あいさつできたね」

●感謝の気持ちを表す。
　「手伝ってくれてありがとう」

●結果のみをほめるのではなく，プロセス（やろうとしたこと）をほめる。
　「がんばって走ったね」，「一人でやろうとがんばったんだね」
　※他の子どもと比較をしないこと。「〇〇ちゃんより速かったね」等は×。

●ほめる所が見付からないではなく，ほめる所をつくってほめる。
　仕事を頼んで　⇒　「ありがとう」と伝える等